

## 第 24 回移動支援分科会開催報告

21.10.24.

分科会主査 八木英樹

開催日時	10月22日(金) 9:00~10:30(Zoom)
参加者 (順不同、 敬称略)	東京大学 IOG : 大方先生、似内先生、学生 1 名 アイシン : 3 名 地域包括支援センター : 1 名、鎌倉市 : 1 名 町内会役員会 : 1 名、分科会 : 5 名
掲示資料	チョイソコ事業化検討課題 (八木作成)

### 議題 1. 当地区でチョイソコ事業化を検討するための課題

事前に配信した資料をアップ、八木が説明した後、意見交換した。

#### 1、当地区で、モデルとしたい松山市久枝地区のチョイソコ事業詳細情報

##### 1) コミュニティの規模

人口 : 25 千人 (75 歳以上が 10%)、52.9%が交通空白/不便地区に住む。世帯数 : 8 千強、事業所数 : 1, 100 社

2) 地域住民による共助組織 (平成 30/2 発足の久枝地区まちづくり協議会) が運営主体で、市の補助金に頼らず。

3) 中核企業のネットヨタ瀬戸内 (松山市) がミニバン (7 人乗り) 1 台提供、予約受付業務も引き受ける。東洋タクシーに運行業務委託。

4) 2021/1~22/3 を第 1 期 (実証実験) としてサービス実施。21/7 から有償化。

5) 車両購入、無償運行期間の経費などの初期投資は、トヨタ・モビリティ基金の助成金で賄う。

トヨタ・モビリティ基金は 19/11~20/1、「自動車販売店各社による地域支援活動」プロジェクトを公募。ネットヨタ瀬戸内の「チョイソコ事業」案件は全国 29 件の一つに選ばれた。

助成期間 : 20/4~22/10

助成金 : 最大 20 百万円/件

##### 6) 現在のサービスの概要

運行時間 : 土日祝日を除く毎日、9~12, 13~16 時運行

予約 : 受付は毎日 8:30~15:30 の間、電話のみ。2 週間前~当日 30 分前まで予約可能

登録会員の会費 : 3 千円/月

エリアスポンサー協賛金 : 1~5 万円/月

##### 7) 第 1 期事業の収支計画

① 事業費想定 85 万円/月

② 収入

	当初想定	現状
会員からの月会費	@ 3千円×200名=60万円	@ 3千円×100名=30万円
エリアスポンサー協賛金	@ 1万円、25社 25万円	@ 1万円強×50社=50万円強

現在の登録会員は91名。乗り放題の故か、会員の利用頻度が高く、車1台で200名対応は困難。エリアスポンサー獲得が想定以上ということもあり、当面100名に限定とする。

## 2、当地区でチョイスコ事業化を検討する際の留意事項

- 1) チョイスコ・システム利用料 40万円/年 車2台まで同一。
- 2) エリアスポンサー募集  
先行事例では、チョイスコ事業の趣旨に対する共感、地元への恩返しでの賛同が多い。
- 3) ふるさと納税の利用  
鎌倉市のふるさと納税使途指定先に「チョイスコ事業」を加えていただくと助成金となる。
- 4) 運営主体となるトヨタ系ディーラーの選定  
アイシンとしてトヨタ系ディーラー各社に対する「チョイスコ事業」の訴求は行うが、個別の働きかけは地元の推進力に期待する。  
ネットトヨタ瀬戸内のような尽力が期待できるか。
- 5) 車はリース契約にするなど、初期費用の圧縮を図る必要がある。補助金が期待できない前提で、収支計画を練って、事業化を検討する。
- 6) 梶原山町内会は、昨年末から町内会館前とけいこう歯科前に「助け合いベンチ」と黄色の旗を置き、座った高齢者がその旗を持つと、通りかかった車が坂の上まで乗せてあげること始めた。回覧などで広報しているが、まだ利用者は少ない。新しい試みを浸透させるのは容易ではない。

## 3、今後の取組み

- 1) 分科会で、さらに可能性調査(FS)を行う。できれば町内会館に集まり、対面での意見交換を行う。
- 2) アイシンさんには、引き続き助言をお願いする。

以上